


## 教材・教具 解説書

<b>所属・氏名</b>	廿日市市立大野中学校 小田 繁		中学校 美術部会
<b>教科等名</b>	美術	<b>対象</b>	中学校 第1学年
<b>教材名</b>	鑑賞「生活の中の美術 しだかご」		
<b>ねらい</b>	地域の身近な工芸品である「しだかご」に目を向け、生活における美術の働きに関心をもつ。 「しだかご」のよさや美しさを味わい、感じたことを説明し合うなどして、見方や感じ方を広げる		
<b>使用方法</b>	<p>ポイント1：鑑賞                      「しだかご」を見たり触ったりして鑑賞し、印象を発表し合う。                      形や色、持った感じ、何に使うかなど考える視点を与えて考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>思考力を高めるための工夫                          「しだかご」の自然な色との対比や曲線の構造から新たな気づきを出させるようにする。</p> </div> <p>ポイント2：使ってみる                      「しだかご」に物を入れ、気づいたことや感想を書く。                      食器や野菜、石鹸などの日用品を準備し、自由に盛りつけさせる。(班活動)</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex-grow: 1;"> <p>表現力を高めるための工夫                              「しだかご」が家庭の風景の中で使われている場面を思い描いて、感じたことを相手に伝えるような文章で表現する。</p> </div> </div> <p>ポイント3：スケッチをする                      簡単なスケッチをすることで「しだかご」の形や色の美しさを再確認するとともに、「しだかご」の印象を記憶の中に定着させる。</p> <p>ポイント4：「しだかご」について知る                      地域に残る工芸品について、その歴史や現在について知る。</p>		
<b>効果</b>	<p><b>ここがポイント!</b></p> 「しだかご」の素朴な美しさや自然の素材のもつよさを感じ取り、見方や感じ方を広げ、生活と美術との深いかわりを理解することができる 「しだかご」に物を入れ、実際に使うという体験的な活動を取り入れることで生徒たちに新たな発見を促すことができる。 「しだかご」の優れた点や利便性を追求する中で失われていく物と、失われつつある物を守り伝えていくことの大切さを考えることができる。		
<b>備考</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しだかご」とは自生するしだを編んで作った日用品である。</li> <li>・明治時代からの大野の特産品で、一時は海外へも輸出されていた。</li> <li>・水や熱に強く、使うほどに美しくいつやや色合いがでる。</li> </ul>		